

## 第 58 回(H24 年度第 5 回)MT 委員会議事録

日時: 2012 年 9 月 21 日 13:30-15:10

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井<sup>a</sup>(委員長)、青井<sup>d,†,‡</sup>、阿部<sup>a</sup>、福西<sup>a</sup>、上垣外<sup>a</sup>、加瀬<sup>a</sup>、久保<sup>a</sup>、宮武<sup>c,†</sup>、森田<sup>a</sup>、本林<sup>a,†</sup>、  
西村<sup>a,†</sup>、下浦<sup>b</sup>、上野<sup>a</sup>、上坂<sup>a</sup>、上叢<sup>a</sup>、若杉<sup>a</sup>、山口<sup>b</sup>、中川<sup>a,†</sup>、植田<sup>a,†</sup>

欠席: 延與<sup>a,†</sup>、羽場<sup>a,†</sup>、櫻井<sup>a</sup>、須田<sup>d,†</sup>、吉田<sup>a,†</sup>

<sup>a</sup>RNC / <sup>b</sup>CNS / <sup>c</sup>KEK / <sup>d</sup>RIBF-UEC / <sup>†</sup>Observer / <sup>‡</sup>TV Attendee

(順不同・敬称略。以下同様)

### 【報告】

#### 1. MT スケジュールの変更(上野)

7/27 に RRC 入取系冷却水ポンプが故障した為、8/6 付けで 9 月末までの RRC 関係の MT スケジュールを下記の通り変更した。

Exp.-Prog.-Num.	previous	changed
<b>AVF-RRC:</b>		
NP0802-RRC53-07 (Matsuo)	Jul 28, 21:00 – Jul 30, 9:00	→ Sep 12, 21:00– Sep 14,9:00
NP0709-RRC39-04 (Nagatomo)	Sep 16, 9:00 – Sep 20, 9:00	→ Sep 19, 21:00– Sep 23, 21:00
IB0702-RRC01-56 (Abe)	Sep 21, 9:00 – Sep 21, 13:00	→ Sep 25, 9:00 – Sep 25, 13:00
ML0901-RRC20-19 (Izumi)	Sep 21, 13:00– Sep 21, 19:00	→ Sep 25, 13:00– Sep 25, 19:00
RI0702-RRC04-09 (Haba)	Sep 24, 9:00 – Sep 26, 9:00	→ Oct 1, 9:00 – Oct 2, 21:00
MS10-EXP12-10 (Hirayama)	Sep 28, 21:00– Sep 30, 21:00	→ Sep 28, 21:00– Sep 30, 9:00

#### 2. RRC 修理報告(加瀬)

- RRC E-セクター電磁石上側コイル

昨年 1 月以降の報告にある通り、E セクターのメインコイルで層間短絡が発生しており、減磁 100 ppm 及び不安定度 20 ppm の影響が出ていた。短絡箇所がコイル内側であり応急処置が困難であることから、8 月に電磁石上側ヨークを解体しメインコイルを交換した。励磁試験等を経て 9 月の RRC MT では順調に稼働中。

- RRC W-セクター電磁石下側コイル

6 月、E セクターに加え 1999 年に発生した層間短絡と同じ箇所で、再び層間短絡が発生した。短絡箇所がコイルの外側であった為、現場での応急処置で対応した。メインコイルの交換による本格修理には一ヶ月またはそれ以上を要する為、この状態のまま運転を行っている。現在動作に問題は生じていない。

#### 3. 下期 MT 配分進捗状況(上野)

前回委員会で報告した通りのスケジュールで MT 配分手続きが進められ、8/13 の MT 委員会準備会及び 9/11 の安全審査委員会を経て、MT 案承認の事前準備が整っているとの報告があった。

#### 4. PAC 進捗状況(上野)

- NP-PAC: 12th NP-PAC を 12/10-11 に開催の予定と案内したが、下期の RIBF の消化見込み日数

が少ないことから(議題 2. 参照)、12月の開催を取りやめることとした(124th RIKEN-CNS 共同研究担当者会議にて決定)。

- 9th ML-PAC(9/4-5): 予定通り9/4-5 に開催。RIBF 施設利用の申請日数は合計 51.9 日。現在 PAC が答申書を作成中。

## 【議題】

### 1. 前回議事録承認(酒井)

### 2. FY2012 下期 MT 計画(酒井)

- 春より調整を続けてきたが、予算の目処が立たないままこれ以上 RIBF-SRC 運転を続行するのは困難とセンター長が判断し、RIBF-SRC 運転を 11 月に限定、森田 MT を除く旧 RARF 施設 MT も下期は凍結するよう、8/7 に指示があった。この方針に基づき、但し AVF 単独利用は使用電力が小さいことから配分することとし、8/13 に開催された MT 委員会準備会<sup>\*1,2</sup>にて策定された MT 案が提示された(上野)。

<sup>\*1</sup> RNC RIBF MT 委員会細則第 6 条に基づく

<sup>\*2</sup> 参加者は: 酒井委員長、阿部・福西・羽場・加瀬・久保・本林・西村・櫻井・下浦・上野・若杉の各委員、及び奥野副部長・池沢 TL・中川 TL・坂本 TL

- 審議の結果、SHE 実験は配分しないとの修正を加え、上記 MT 計画を承認することとした。但し、予算状況により、可能であれば 12-1 月も BigRIPS 関連実験を継続して実施する。また、2-3 月は旧 RARF 施設の課題(9th ML-PAC 採択課題を含める)を別途募集するとしていたが、上記方針により募集を一旦凍結することとした。
- 利用者の便宜を図り、当委員会で最終承認される前の MT 案が公開されているが、これには「MT 委員会準備会案」等と付記して公開するべきであるとのコメントがあった。また、NP-PAC の開催日程を一ヶ月前にシフトさせ、5 月に開催するようにすれば、7 月の MT 委員会で MT 案の承認が可能となるので(8 月は通常休会)、上記配慮は不要であるとの提案があった(福西)。

### 3. ビーム開発の現状・将来(上垣外)

- ビーム開発の優先順位は今後 2 年程度に渡るビーム供給必要性と、開発可能性の両方を考慮して決められている。このうち後者は技術的課題だけでなく、開発時間の確保(つまり MT 計画)の両者の制約を受ける。現状は優先順位 1 位として  $^{238}\text{U}$ 、2 位として  $^{48}\text{Ca}$  に着手している(2013 春の実用化を目標にオープンを開発中)。
- 当委員会で優先順位 3 位以降のビーム種に関する議論があった。MT 委員会案としてまとめ、センター長及び副センター長へ答申し、経営判断を仰ぐ。今後、より詳細に、ビーム種ごとの技術的課題や供給必要性等をまとめ、マンパワーやイオン源の使用状況、SHE 実験の今後の予定、及び他機関との共同開発の可能性などを考慮しつつ供給可能時期を設定する。
- 多くの実験課題が、公開されているビーム供給実績リストに基づいて申請・採択されているので、潜在的に利用希望が多いビーム種が上記開発候補から漏れている可能性があるとの指摘があった。ユーザーグループで調査を実施し、判断材料として RNC に提供することを検討したいとの意見が提出された(青井)。

#### 4. 次年度(FY2013)の年間 MT 計画概要(酒井)

- 一次ビーム暫定 2 年計画として
  - 2012 秋 :  $^{238}\text{U}$ ,  $^{124}\text{Xe}$ , (& AVF injection)
  - 2013 春夏 :  $^{238}\text{U}$ ,  $^{78}\text{Kr}$ , ( $^{48}\text{Ca}$ , & AVF injection)

が公開されており、2013 秋及び 2014 冬のビーム種が検討中である。

- これを基に次年度の MT 計画の検討が行われた。

#### 5. 次回 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 10/12(金)13:30-で調整。
- 次々回 11/16(金)13:30-で調整

(以上)